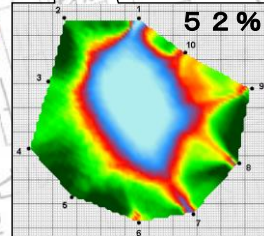
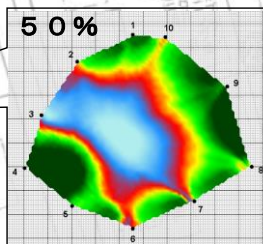
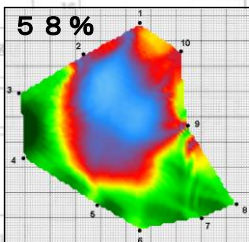
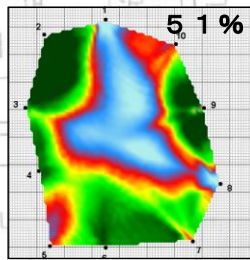
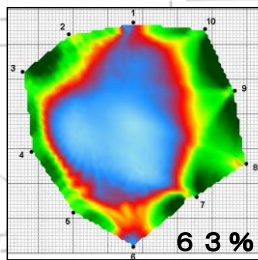
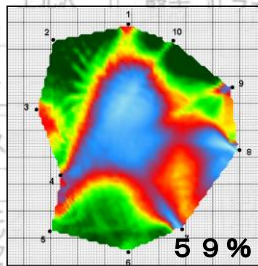
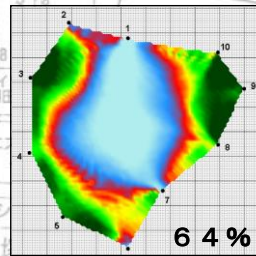


％：腐朽・空洞率



胴巻きによる状況を見守る

電線に当たっている枝を伐採

支柱を撤去

開花状況の監視が必要  
(その後選定して伐採)

要観察

要観察

上部の葉が出なければ  
枝の伐採

要観察

要経過観察

上部の枯れた枝の伐採

シンダイアケボノ  
シロタエ  
オオシマザクラ

《腐朽・空洞状況》

淡青色	↑ ・腐朽あり ・黄色、赤色、青色、淡青色の順で腐朽がひどくなっていることを表す (青はスポンジ状、淡青は空洞の可能性が高い)
青色	
赤色	
黄色	
緑色	
濃緑色	↓ ・腐朽なし ・緑色、濃緑色の順で材がしっかりとっていくことを表している

観察状況	A	良好・問題は少ない
	B	多少問題あり
	C	要対策あるいは観察継続
成長度と処置状態	○	処置不要の桜木
	□	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木(15年以内)
	×	倒木または枯死後桜木の戸籍のみ

石井樹木医判定(平成28年3月5日)

画像診断調査(平成27年7月14日) ☆:調査対象樹木

樹木番号	区設定コード	石井樹木医判定 [A → C] (良)→(悪)	対策	観察結果
AB e 1	1	B		・歩道側(東側)の根が無い。 ・倒木の危険はある。 ・Cランクに近い。 ・上部は元気でも、下部は弱っている(コブ病がある)。
AB e 2	2	A		・30年未満の桜である。 ・風の影響で多少ねじれはあるが、良好。
AB w 1	50	B		・昨年枝を落とし軽くした。 ・枝の股の部分にシダ(マツバラ)が出ている。 ・しっかりした木部が幹に3方向以上あるので、傾木の危険は少ない。 ・根元にはキノコがある。
AB w 2	49	B		・昨年枝を落とし軽くした。 ・風の影響で幹がねじれている。
AB w 3	48	B		・昨年枝を落とし軽くした。 ・車の衝突跡があるが、全体的に生命力がある。
AB w 4	47	***		・2013年7月伐採(駐車場出入り口に近いため植え替えはしない)。
AB w 5	46	A	胴巻きによる状況を見守る	・30年未満の桜である。 ・3、4年前に比べ幹は太くなっている。 ・10年前に比べ凹凸が多くなっている。
AB w 6	45	A		・樹齢60年以上。 ・不定根で再生中。 ・樹形は悪いが、樹勢は問題がない。
AB w 7	44	A		・状態は以前よりも良くなっている。 ・不定根が死んでいるものもある。
BC e 1	3	A		・2015年11月26日移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲15cm(H28)
BC e 2	4	A		・[オオシマザクラ] ・壮年期の桜。 ・若干悪い兆候がある。 ・*胴周囲116⇒122⇒128⇒134⇒137cm
BC e 3	5	***		・2007年ナラタケモドキによって根株腐朽し枯死。
BC e 4	6	A		・とくに問題はない。
BC e 5	7	A		・2015年11月27日植樹を改良。 ・先端部の枝に悪い部分があるが、全体的に大きな問題はない。 ・*胴周囲160⇒161⇒162.5⇒165⇒166cm
BC e 6	8	A		・不定根が育っている。 ・とくに問題はない。
BC e 7	9	A		・樹形は悪いが、不定根が土に下りて問題はない。 ・戦前からの桜の可能性有り。
BC w 1	43	C	電線に当たっている枝を伐採	・一部分コブキサルノコシカケとベッコウダケがある。 ・良い枝が出ており一時の危機は去ったが、回復状況ははっきりしない。 ・Cランクのまま。 ・*胴周囲181⇒191⇒196⇒201⇒201cm
BC w 2	42	A	支柱を撤去	・2011年12月15日移植。 ・*胴周囲21.5⇒25.5⇒34⇒39⇒44cm
BC w 3	41	A		・2016年2月3日移植。 ・[ジンダイアケボノ] ・*胴周囲11cm(H28)
BC w 4	40	A		・2013年8月伐採。 ・2014年3月14日移植。 ・健全。 ・成長が楽しみである。 ・樹種はヤマザクラ系の「シロタエ」。 ・*胴周囲○⇒○⇒○⇒18⇒20cm
BC w 5	39	A		・キノコがなくなった。 ・枝ぶりも良く元気である。 ・苔が多いのが気になり。
BC w 6	38	A		・不定根はあるが、良いものは少ない。
BC w 7	51	A		・2005年11月移植。 ・成長は良好。 ・*胴周囲45⇒52⇒62.5⇒68.5⇒74cm
CD e 1	10	A		・樹形は悪いが、樹勢は良好。 ・不定根が良く育っている。
CD e 2	11	A		・樹勢はとくに問題はない。
CD e 3	12	A		・とくに問題はない。
CD e 4	13	A		・コブが出ており、樹勢が弱くなりつつある。
CD e 5	14	A		・2005年11月移植。 とくに問題はない。 ・枝葉がだいぶ増えてきた。 ・*胴周囲38.5⇒44⇒53⇒59.5⇒65cm
CD e 6	15	B	要観察	・回復途中。 ・若い割にコブがあり、イメージは悪い。 ・ナラタケが出なければ良いが。 ・*胴周囲75cm(H28)
CD e 7	16	***		・2013年7月伐採。
CD e 8	17	A		・2005年11月移植。 とくに問題はない。 ・幹の途中から下は桜肌が無い(エドヒガシの樹皮のようだ)。 ・*胴周囲39⇒43⇒55⇒57.5⇒59cm
CD w 1	37	C	開花状況の監視が必要(その後選定して伐採)	・根元にナラタケモドキがあり、腐朽が進んでいる。 ・枝の先端が細く垂れている。 ・最も危険な桜。
CD w 2	36	A		・ナラタケ等が発生して心配していたが、危機は乗り切ったようにみえる。
CD w 3	35	***		—
CD w 4	34	A		・内部に若干問題が出はじめている。
CD w 5	33	***		—
CD w 6	32	C	要観察	・新たなベッコウダケがある。 ・良い枝もあるが、要観察。
CD w 7	31	A		・コブがあるが良性。 ・根元は露出しているが、元気である。
CD w 8	30	C	上部の葉が出なければ枝の伐採	・ヒメダケの出ている枝先は枯れている。 幹にはコブキサルノコシカケがある。 ・上部の太い枝が枯れており、No.37に次いで危険。
DE e 1	18	A		・樹勢はとくに問題はない。 ・不定根で幹を守っている。
DE e 2	19	A		・良い根が多く出ている。
DE e 3	20	B		・戦前からの桜(?)。1本の木から分かれて2本になった。中に空洞があるが良好。
DE e 4	21	A		・樹勢はとくに問題はない。
DE e 5	22	A	上部の枯れた枝の伐採	・以前ひこばえが白化した。 ・No.23の勢いに負けている。
DE w 1	29	A		・2013年3月移植。 ・*胴周囲○⇒○⇒○⇒17.5⇒19.5cm
DE w 2	28	B	要観察	・全体的にバランスが悪く、幹が道路側に傾く可能性がある。
DE w 3	27	B	要経過観察	・道路側の折れた枝から伸びた新枝は要経過観察。
DE w 4	26	B		・初代に近い頃の桜。 ・亀裂がある。 ・周辺の建物の影響かもしれないが、傾きが以前より多くなっている。
DE w 5	25	B		・初代並木の数少ない残存木。 ・空洞があり多少ピンチだが、倒木の危険はない。
DE w 6	24	A		・将来的にNo.25のように空洞は出来るが、全体的に樹勢は良い。
DE w 7	23	A		・西側に亀裂があるが、とくに問題はない。 ・樹皮からみて20年位の桜か。 ・*胴周囲○⇒108⇒113⇒118⇒124cm

間隔が狭い